

肉腫知って 広島市民ら自転車ツアー

'03/6/30

平和公園 宮島口20キロ

悪性腫瘍（しゅよう）の一つ、肉腫への社会の関心を高めようと、広島市民たちが二十九日、広島市中区の平和記念公園から広島県大野町の宮島口まで約二十キロを自転車で走り、アピールした。

ニューヨークで闘病生活を送るリディー・シュライバーさん（35）の呼び掛けに応じ、世界十カ国で行うツアーの一環。日本で開催するのは一カ所で、中区の元大学教授市川忠男さん（67）が発起人になり、二十五人が参加。肉腫の英名「SARCOMA」と書かれたそろいのTシャツを着て午前十時に出発し、約二時間半で走破した。

自動車で伴走した市川さんは「ツアーの様子をホームページに載せ、治療法が確立されていない患者の支援につなげたい」。七月五日にも同時刻にこのルートを走る。

【写真説明】肉腫を広く知ってもらうため、平和記念公園を自転車で出発する参加者

